

# 福島建設工業新聞

発行所

福島市西中央2丁目59  
(郵便番号960-8074)

福島建設工業新聞社

電話(024)534-7456(大代表)

©福島建設工業新聞社

公社日本専門新聞協会加盟紙

ホームページ

ホームページアドレス

<http://www.fk-news.co.jp>

e-mail  
[hensyu@fk-news.co.jp](mailto:hensyu@fk-news.co.jp)

の産業の  
日綜産業の  
クイッククラブ

## 明るい作業空間確保

### 八千代橋補修で東北初採用

環境建設が施工している県道喜多方会津坂下線・八千代橋の橋梁補修工事現場(現場代理人・関本董一 党務取締役)に、日綜産業(本社〓東京都中央区、小野大社長)の熱収縮・密着型防水性養生シート「クイッククラブ」(ポリエチレン製、厚さ0.3mm)が東北で初めて採用された。

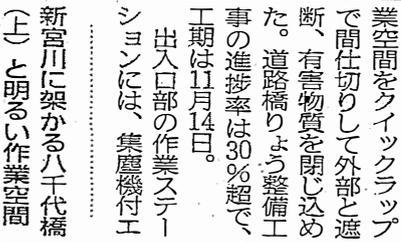
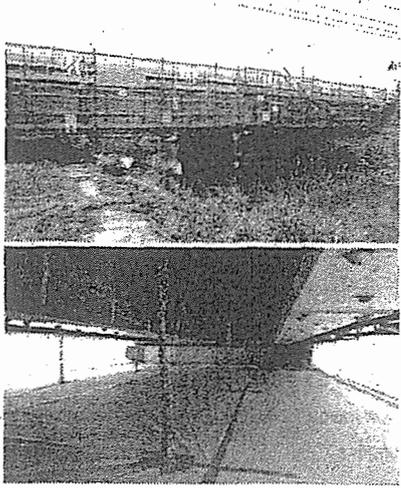
現場塗装工、道路舗装工、区画線工、橋梁付属物工(防護柵交換ほか)、橋梁補修工等。施工地は会津坂下町緑町の国道49号から喜多方市方面へ約200mの同町中泉地内。

環境建設は、既存の塗装を剥がす下地処理で、研磨剤を吹き付けるサンドブラストを実施し、有害な粉塵の飛散を防ぐため、外周部やブラスト作業空間をクイッククラブで間仕切りして外部と遮断、有害物質を閉じ込めた。道路橋りょう整備工事の進捗率は30%超で、工期は11月14日。

同工事は会津若松建設事務所発注の道路橋りょう整備で、新宮川に架かる同橋〓橋長54.5m、幅員6.6m(6.6m)の

環境建設は、既存の塗装を剥がす下地処理で、研磨剤を吹き付けるサンドブラストを実施し、有害な粉塵の飛散を防ぐため、外周部やブラスト作業空間をクイッククラブで間仕切りして外部と遮断、有害物質を閉じ込めた。道路橋りょう整備工事の進捗率は30%超で、工期は11月14日。

関本常務は「広く明るい空間で作業が格段に楽になった。周辺環境に配慮し安全で効率的な施工を行いたい」と述べた。クイッククラブの問い合わせは日綜産業 〓03(66991)3246。



新宮川に架かる八千代橋(上)と明るい作業空間

問い合わせは日綜産業 〓03(66991)3246。

# 日刊建設工業新聞

10月16日(金)

第20001号

記事 電話03-3433-7161 mail-ed@decn.co.jp 購読 電話03-3433-7152 mail-sa@decn.co.jp 広告 電話03-3433-7154 eigyo@decn.co.jp

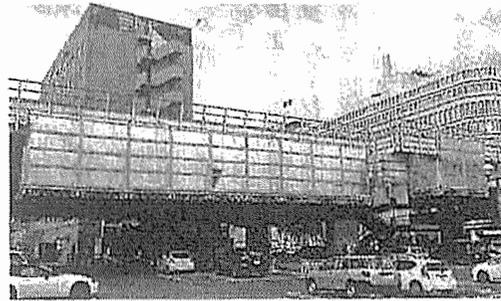
発行所 日刊建設工業新聞社 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7161 https://www.decn.co.jp/ ©日刊建設工業新聞社 2020

日綜産業

## あづま陸橋整備で採用

### クイックデッキ3シリーズ

日綜産業(東京都中央区、小野大社長)の先行床施工式フロア型システムつり足場「クイックデッキ」と関連部材の「クイックラップ」



あづま陸橋整備で採用されたクイックデッキシリーズ

「クイックパネライト」が、福島県東北建設事務所発注の福島吾妻裏磐梯線「道路橋りょう(あづま陸橋)整備補助工事」に全国で初めて

重複採用され、安全施工や作業環境改善、工事の品質向上に大きく貢献している。

福島駅前で人通りも多く、駐車場の上部に橋が架かる現場条件から、施工を担当する環境建設(福島県喜多方市)では、安全な作業空間を確保できるつり足場として喜多方会津坂下線・八千代橋の補修工事でも実績のある

「クイックデッキ」と、熱収縮・密着型防水性養生シート「クイックラップ」を採用。それに加えて今回は、内部脱着式採光防音防護システム「クイックパネライト」を併用し、採光性に優れた快適な作業ステーションを実現した。

クイックパネライトは、クイックデッキ専用の防護システムとして今回、東北で初めて採用された。アルミフレームと、防音シートまたはポリカーボネート板で構成し、採光性を確保しつつ仮設工業会の「防音パネル基準」に準拠。取り付けは、内部脱着式を採用することで身を乗り出す危険作業もなく、安全な施工を可能にした。

同社が受注した工事は、あづま陸橋(橋長4500m、車道幅員14~20m)の150区間で、上部工や下部工、支承の補修、塗装塗り替えなどを行うもので、工期は2021年2月8日。

塩見清和所長は、「第三者災害の防止や快適な作業環境など、安全施工に大きく貢献している」と高く評価。組み立てを担当したインテック(福島市)の椋山雅樹専務も「板張り防護よりも作業性が良く、作業工数も3~4割短縮できた。太陽光による明るい作業空間が安全施工につながっている」という。

日綜産業では、クイックデッキが2019年6月にNETIS(新技術情報提供システム)の準推薦技術に格上げされたことから、今後はシリーズとして橋梁などの土木分野だけでなく、建築分野への普及拡大にも注力していく方針だ。